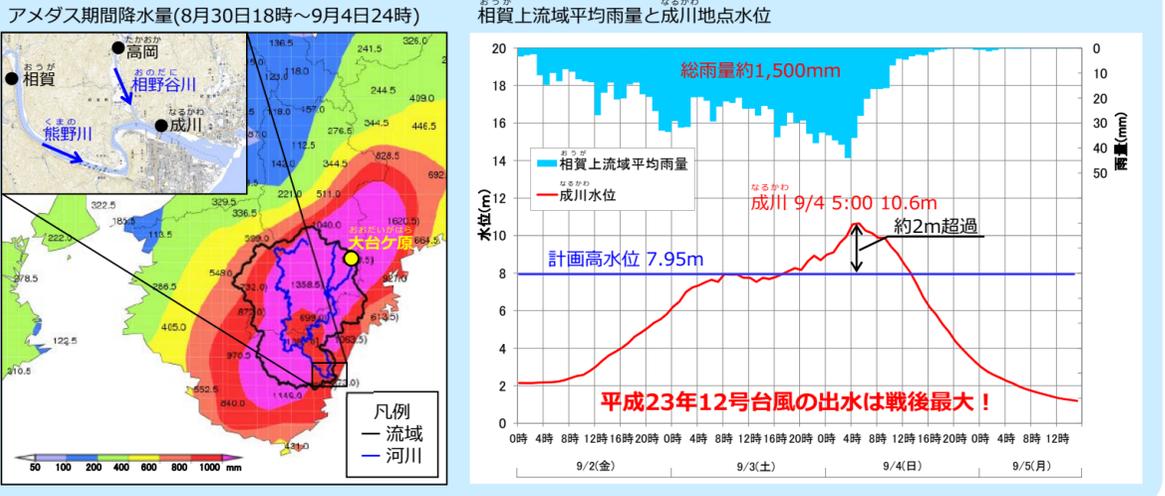


平成23年台風12号の猛威

未曾有の豪雨

平成23年8月25日に発生した台風12号は、9月3日に高知県に上陸し、四国・中国地方をゆっくりと縦断し、9月4日に日本海に抜けました。この台風は熊野川上流の大台ヶ原地点にて6日間の総雨量が2,000mmを超える未曾有の豪雨をもたらしました。

長時間にわたる豪雨により、熊野川の水位は上昇し、成川水位観測所では計画高水位を約2mも上回る水位を観測しました。



市街地の浸水

この洪水では、熊野川の7箇所で堤防から水があふれ、市街地で浸水被害が発生しました。また支川の相野谷川では輪中堤から水があふれて家屋が浸水し、一部で輪中堤が転倒するなど甚大な被害が発生しました。

熊野川・相野谷川の浸水戸数と浸水面積

| 河川 | 市町 | 浸水戸数(戸) | | 浸水面積(ha) |
|---------|-----|---------|-------|----------|
| | | 床上 | 床下 | |
| 熊野川(本川) | 新宮市 | 1,293 | 1,008 | 2,301 |
| | 紀宝町 | 402 | 142 | 544 |
| 計 | | 1,695 | 1,150 | 2,845 |
| 相野谷川 | 紀宝町 | 467 | 10 | 477 |
| 合計 | | 2,162 | 1,160 | 3,332 |

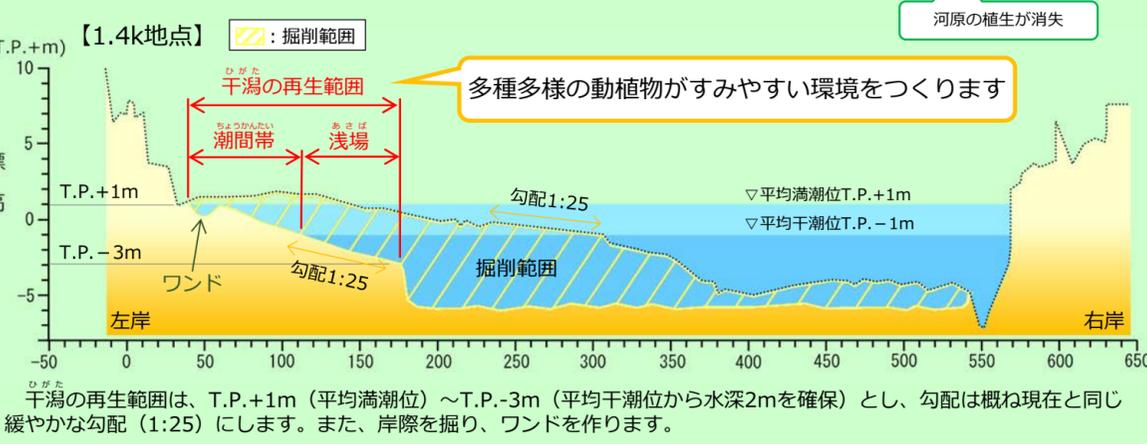
*いずれも住家を対象とした戸数 *浸水家屋数は市町調べ。



環境を守る取り組み

干潟の再生

熊野川の干潟は、動植物にとってすみやすい環境となっていました。平成23年台風12号でその環境はなくなりました。そのため、熊野川の掘削では、潮が満ち引きする場所(潮間帯)や浅場を広く作るなどの工夫により、干潟の再生を目指しています。



お問い合わせ・連絡先

国土交通省 近畿地方整備局
紀南河川国道事務所

〒646-0003 和歌山県田辺市中万呂142
TEL.0739-22-4564 (代)
ホームページ: <http://www.kkr.mlit.go.jp/kinan>



国土交通省 近畿地方整備局
紀南河川国道事務所

熊野川の災害への取り組み

災害防止への取り組み

熊野川では、平成23年台風12号により甚大な浸水被害を受け、再び台風12号と同じような洪水が発生しても被害が出ないように平成28年度末までの約6年間で、「河道掘削、堤防整備、堤防強化」などの完成を目指しています。河道掘削では、熊野川の管理区間を約400万m³（東京ドーム約3.2個分）を掘る予定です。

※平成23年12月に河川激甚災害対策特別緊急事業に採択

期待される効果

①河道を掘ることで洪水を低下させます。(河道掘削)



川底などを掘り下げたり、広げたりして水の流れる断面を大きくすることで、洪水を低下させます。

②堤防の高さをあげることで、洪水があふれるのを防ぎます(堤防整備)



堤防がない箇所や堤防が低い箇所を土やコンクリートで堤防を高くし、洪水があふれることを防ぎます。

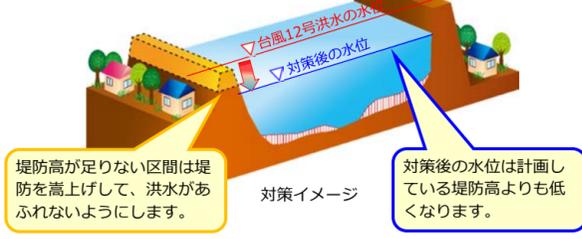
③洪水に弱い堤防を強くします。(堤防強化)



堤防が洪水で崩れないようにコンクリートブロックで表面を強化します。

【熊野川の洪水対策メニュー】

- 河道掘削 : 河口～3.2k
- 堤防整備 : 蓬萊地区、池田地区、成川地区
- 堤防強化 : 相筋地区



① 相筋地区(堤防を強くする)



② 池田地区(堤防をつくる)



③ 蓬萊地区(堤防をつくる)

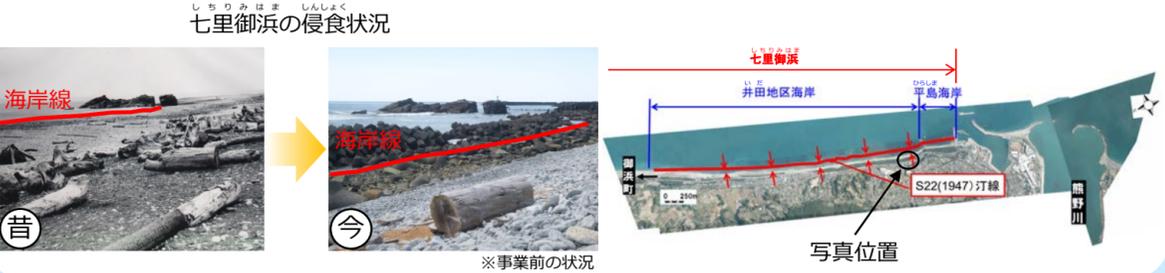


こんなこともしています

河道掘削で掘った土砂は、七里御浜などの海岸やグラウンドなどの復旧に有効活用しています。

七里御浜の侵食対策

近年侵食が進んでいる三重県の七里御浜（井田地区海岸）へ土砂を搬入し、海岸の再生を行っています。搬入時は、事前に土砂の洗浄を行うなどの工夫により、きれいな浜をつくることに努めています。



対策の流れ



その他

- ・台風12号で被災したグラウンド等を復旧するために活用
- ・巨大地震・津波に備えた津波防災施設の基盤整備のために活用
- ・骨材（コンクリートやアスファルトの材料である砂や砂利）としての活用

工事で活躍する機械

● グラブ浚渫船



● 水陸両用ブルドーザ



岸辺まで土砂を押し、陸上からバックホウ（パワーショベルとも言う）で、すくいあげています。